

読者ひろば

Readers' square

恵楓園の案内
新手法に期待高谷和生⁶⁸

|| ボランティアガイド

(玉名市)

国立ハンセン病療養所
・ 菊池恵楓園(合志市)
では、コロナ禍で入所者の命を守るため、外部からの見学や私たちボランティアガイドの活動を休止している。

その間にも、園内に歴史資料館が新たに開館し、証言DVD刊行や市による新パンフレット発刊が行われた。私が勤務する小学校でもこれらの新たな資料を基に6年生に「ハンセン病学習」の学習支援を行った。市作成のDVD「壁をこえて」や園作成DVD「恵楓園の歴史を歩く」は、歴史事実を基にして

分かりやすく編集。回復者の方々の証言も随所に収録し、一人一人の人間回復の道をたどることができる。

市作成のパンフレット「忘れないこと」は漫画を通じた入門編として、ハンセン病問題を学ぼうきっかけをつくっている。

中でも特に注目したいのは「菊池恵楓園バーチャルガイド」である。全国のフィールドミュージアム等で展開されている手法で、来園せずとも情報端末で園内を知ることが可能となる。

今後は現地に設置されるVR(仮想現実)ポイントに往時の写真や復元建物等を入れ、回復者の証言等も付加してほしい。見学者に添った私たちガイドの生の解説とV

Rを重ねることで、全国の他の療養所にはない独自の展開が可能となる。

入所者の思いを伝え継承するのは、人であり、残された歴史遺産である。桜の開花以降は「コロナ5類引き下げ」を見通し、ガイド活動も徐々に再開されるだろう。多くの方々の新たな出会いを楽しみにしている。